

Root Zone LGRおよび日本語 生成パネル(JGP)について

第43回 ICANN報告会

2015年7月28日

日本語生成パネル<<http://j-gp.jp>> <info@j-gp.jp>
チェア 堀田博文

株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
堀田 博文 <hotta@jprs.co.jp>

背景

- ルートゾーンには様々な言語・scriptのラベルが混在
- いくつかの言語・scriptには
 - 異体字(字形・コードポイントは異なるが同じ読み・意味の文字)が存在
 - 同一視すべき異体字同士が存在



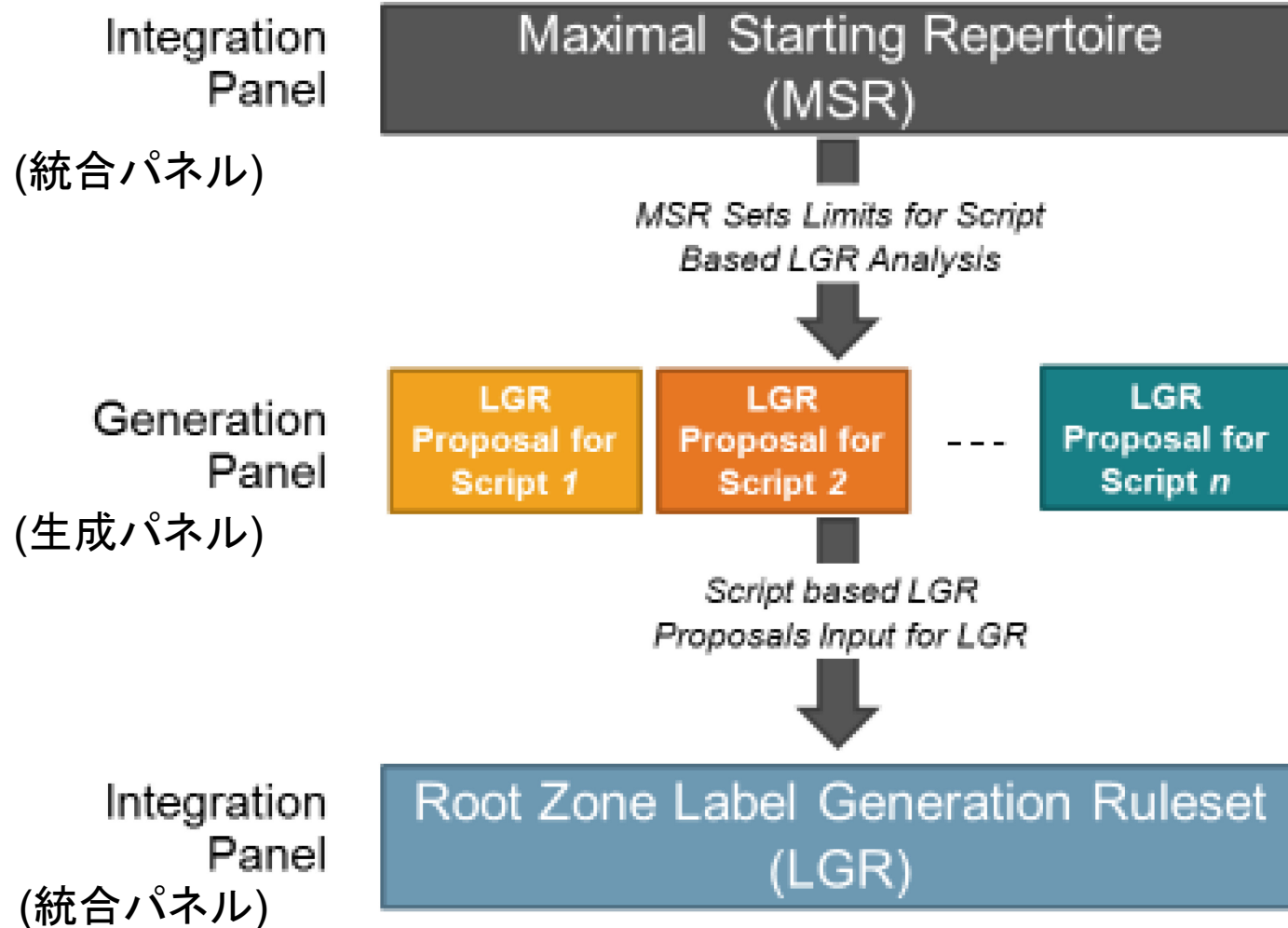
ラベルの適切さや同一視すべき異体字をもつラベルをできるだけ自動的に判断できるように

- ルートゾーン用に、様々な言語・scriptで使える文字およびその異体字を統一的に取り扱うルール(Root zone Label Generation Rules; RootLGR)を決めておく
- scriptを共有する言語同士は統一ルールの作成において調整が必要
 - 例: CJK(中国語/日本語/韓国語)は漢字を共有

RootLGRとは

- 創設を申請されたIDN TLDラベルをルートゾーンの中でどのように取り扱うかを規定するルール
- 各言語・scriptに対する次の4つのルールからなる
 - 使用可能な文字の集合
 - たとえば、JIS第一水準と第二水準の文字
 - 異体字の定義
 - たとえば、「国」と「國」は異体字
 - どの異体字を文字列内で使えるかの定義
 - たとえば、「国」と「國」は異体字であり、「国」が入ったラベルをTLDとして使用する場合、その「国」を「國」に置き換えたラベルは使用不可
 - ラベル文字列全体に関するルールの定義
 - たとえば、中国語の簡体字と繁体字は1ラベル内では同時使用不可

RootLGR開発プロセス

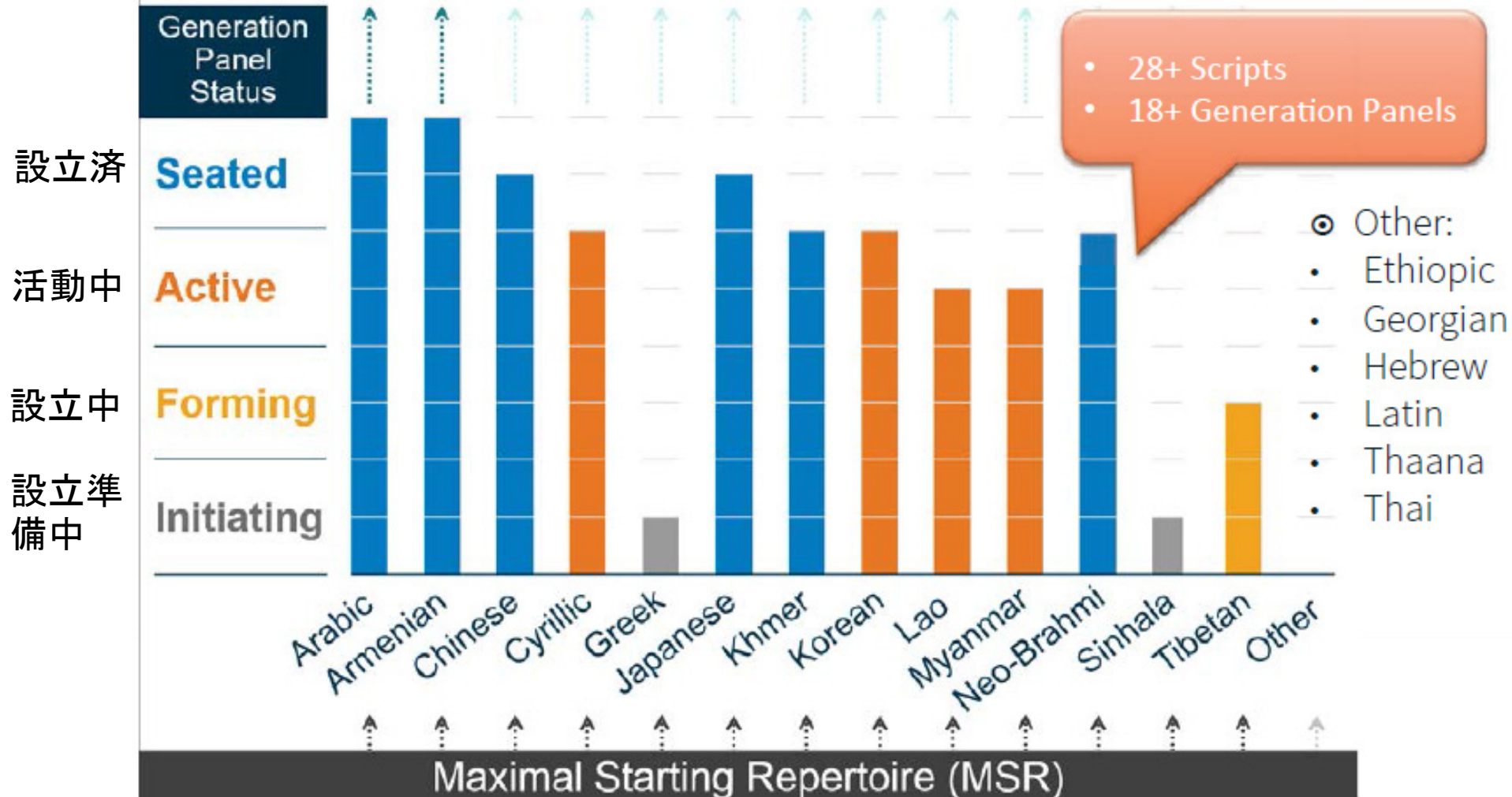


各国の言語生成パネルの状況

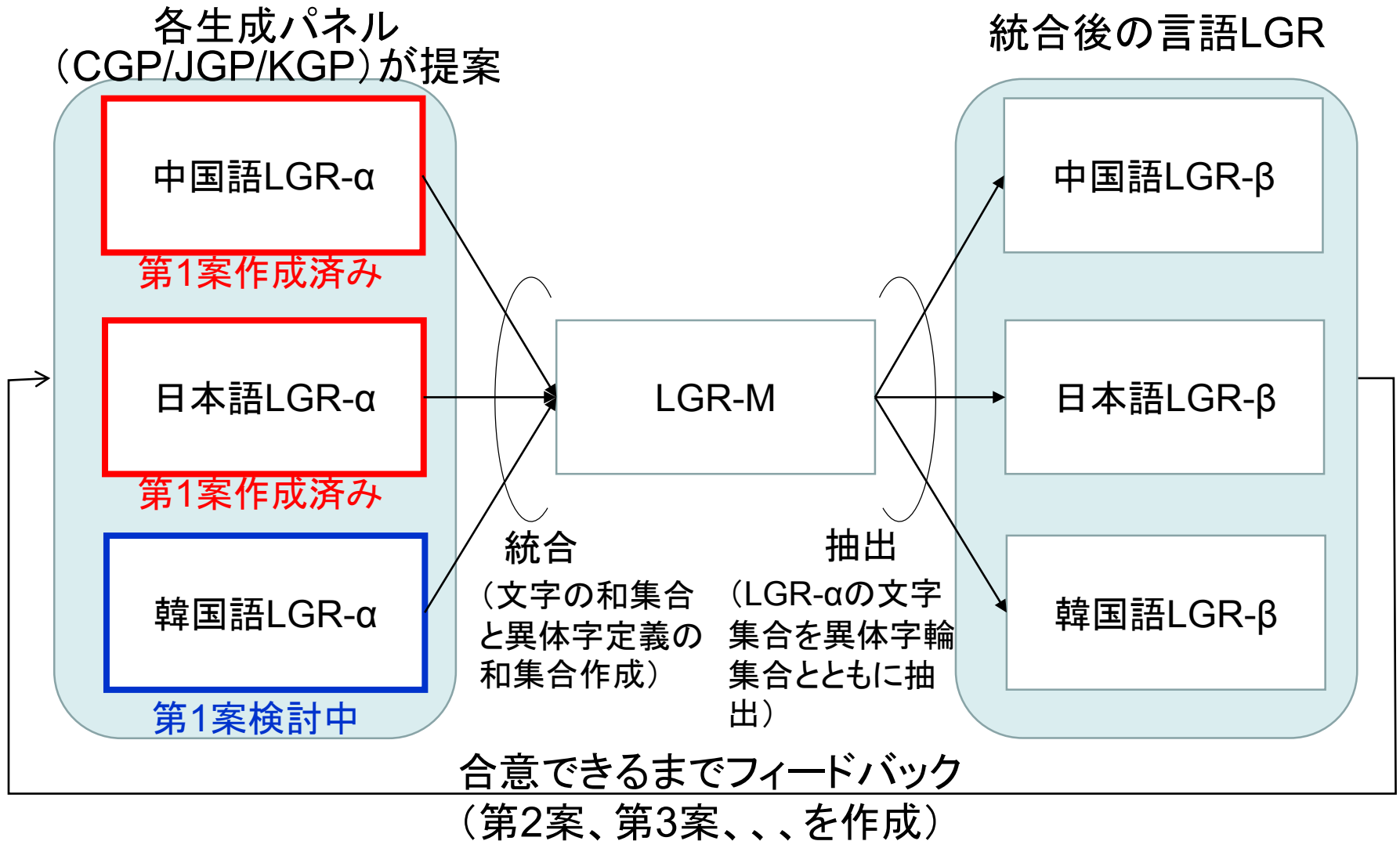
2015年6月24日ICANN発表

ICANN 53

Label Generation Rules (LGR)



漢字に関する生成パネル間の協調



日本語LGR- α 定義の方向性

- 使用可能な文字の集合
 - JIS X 0208:2012の第一水準・第二水準の範囲(漢字、平仮名、片仮名、漢字および仮名に準ずる一部記号文字からなる6,358文字)
- 異体字の定義
 - 第1案では定義しない
 - 中国語/韓国語LGR- α での異体字を取り込んだ結果(日本語LGR- β)を評価し、必要に応じ第2案では異体字を定義
 - 第1案ではあらゆる文字の組合せをラベルで使用可能
 - 中国語/韓国語LGR- α での異体字を取り込んだ結果(日本語LGR- β)を評価し、必要に応じ第2案では異体字とその使用可能性を定義
- ラベル文字列全体に関するルールの定義
 - 定義しない

CJK調整状況

- 会合
 - 5月15日(金)～16日(土)にソウルにてCJK会合を開催
 - 6月21日(日)～25日(木)のICANN会合中に4度のCJK会合を開催
- 結果
 - 各GPからLGR-α(文字集合と異体字定義)の第1案が出された
 - Cは約13,000文字、約3,000組の異体字グループ
 - Jは約6,000文字、異体字グループなし
 - Kは約6,000文字、66組の異体字グループ
 - CJK統合アルゴリズム(スライド6参照)を詳細合意
 - allocatable(委任可能)なラベル数を削減する方向で今後も継続検討
- 完成スケジュール
 - 韓国のLGR-αの第1案内容確定が2015年12月予定との表明があり、日本国内のパブリックコメント募集及びCJKのRootLGR完成は2016年以降となる予定
 - RootLGR完成時期は2016年末までが望ましいが、ボトムアップエフォートなので確定的な期限を設定していない、というのがICANNのスタンス

JGPの今後の活動予定

- 主な検討課題

- allocatable(委任可能)なラベル数を削減する方向で継続検討
 - ラベルとはドメイン名の「.」で区切られた部分。

例: 中国語LGR- α の現在の案を採用した場合、日本語LGR- β における「.国際会議」の異体字ラベルは8種類

国: 国、國 (2通り)

際: 際、际 (2通り)

会: 会 (1通り)

議: 議、议 (2通り)

$$2 \times 2 \times 1 \times 2 = 8 (\text{通り})$$

8種類すべてがTLDとして使用可能とするのではなく、数を減らす方策が必要

- 今後のスケジュール

- ICANNダブリン会合(10月)での中国・韓国との調整に向け、allocatable(委任可能)なラベル数を削減への対応を検討
- その他、CGP/KGPの検討進展に伴う中間的LGR- α 案を入手しつつ、CGP/KGPとLGR- α 案を調整